

【テーマ3】 国立大学法人上越教育大学

「教員育成指標の活用と研修管理システムによる『教師力向上セミナー』の改善」

調査の概要

◆課題認識

- ・研修モデルプランにおける指標の具体的な活用状況とその意義が確認できていない。
- ・OJTとOff-JTのバランスが大切だが、学校外の研修会への申込みや研修履歴の確認ができる研修管理システムの整備が十分でない。

◆調査研究の目的

- ・経験値の異なる教員や学生が一体的に学び合うセミナーと指標活用の効果を検証すること
- ・自治体や管理職の指標活用状況を調査し、研修管理システムを構想すること

◆調査研究の方法

- ・セミナー・シンポジウムの実施と情報収集
- ・視察、ヒヤリング、アンケートによる確認とセミナーやシステムの改善検討

◆調査研究校

<先進地域>

- ・岩手県、仙台市、徳島県、山形県、山形市、京都府、京都市、熊本市等の教育センター、教育委員会ほか

<実態調査校>

- ・先進地域の小中学校8校

<シンポジウム参加自治体>

- ・秋田県、山梨県、新潟市、千葉県、福井県、仙台市、東京都、岡山県、新潟県

◆現状

- ・指標の周知から研修等への活用が進んできているが、指標活用の効果検証やシステム整備は進んでいない。
- ・研修管理システムを整備している先進地域では、システム維持費等の財政面の課題と人事異動等で勤務先の変更など担当者の負担増の課題が見られる。

取組のポイント・成果

◆取組のポイント

①ポイントA

- ・33回の教師力向上セミナーを実施し、アンケート調査を通して指標活用の意義と教職経験の異なる教員による一体型セミナーの効果を検証した。

②ポイントB

- ・視察調査・ヒヤリング・アンケート・「指標に基づく資質能力向上シンポジウム」の基調講演や実践発表を通して、指標活用や研修管理システムについて情報収集を行い報告書にまとめた。

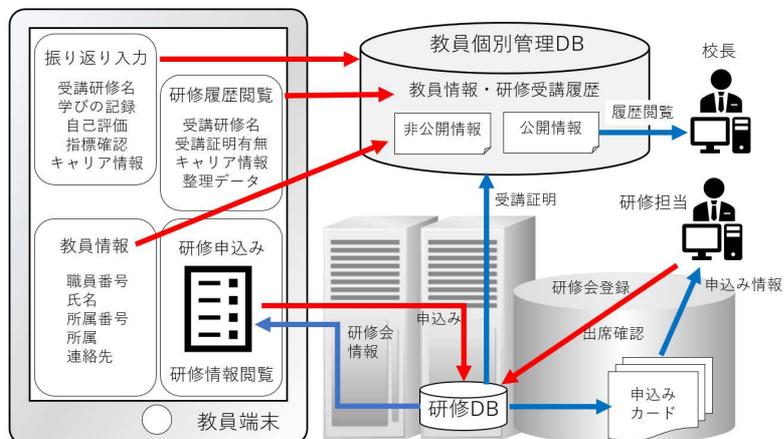
③ポイントC

- ・先進地域で整備されている研修管理システムを参考に、研修の申込み受付からアンケート集約までのデータベースを構築した。調査と活用を通して明らかになった課題について検討し、研修管理システムの構成について検討した。

◆成果

- ・「研修管理システムの構成イメージ」を図1のように整理し、概念データモデルを提案した。
- ・今年度の教師力向上セミナーの成果と課題を踏まえて、研修モデルプランの改善版を提案した。

< 図1 研修管理システムの構成イメージ >



今後の課題

◆研修管理システムの具体的活用に向けての取組

- ・ポリシーを配慮した研修管理システムの整備・活用と研修受講へのインセンティブの確保
- ・教員育成指標の改善と研修管理システムでの指標の具体的活用方法

※ 上記項目については一例であり、適宜変更してかまわない。

※ 別紙イ-②については、文部科学省において公表する場合がある。